
メ〜テレ 狩野隆也社長 定例会見
朝夕の「ドデスカ!」「ドデスカ+」をリニューアルし
地元への密着度高める
家庭菜園や農作業に焦点をあてた Web メディア
「TSUCHILL(ツチル)」を公開

メ〜テレ（名古屋テレビ放送）は、3月22日（金）に狩野隆也（かの・たかや）社長の定例会見を開きました。会見で狩野社長は、2023年度の個人全体視聴率が、朝の情報ワイド番組「ドデスカ!」の好調などにより、2年連続で「全日帯」「ゴールデン帯」「プライム帯」「ノンプライム帯」の4区分で2位となる見込みであることを明らかにしました。また、朝夕の「ドデスカ!」「ドデスカ+」をリニューアルし、「時間帯ごとのニーズに沿った新企画で地元への密着度を高める」と語りました。会見では、「ドデスカ!」「ドデスカ+」に出演する、竹田基起、島津咲苗、濱田隼、西尾菜々美のアナウンサー4人がリニューアルのポイントを紹介したほか、新番組「愛知トヨタ presents 夢の1 DAY パス」のスタートや、家庭菜園や農作業に焦点をあてた Web メディア「TSUCHILL(ツチル)」を公開したことなどを発表しました。



メ〜テレ 狩野隆也社長

狩野社長の冒頭あいさつの内容は以下の通りです。

狩野でございます。日頃から皆さま方には格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。

2年前、メ〜テレは開局60周年を迎えるにあたり、新しいキャッチコピー「メ〜ロメロ!メ〜テレ」を掲げました。

「メ〜テレは地元で“メ〜ロメロ!”という、熱い地元愛を地域の皆さんに伝えるため、積極的に汗を流そうという思いが込められています。その思いは、現在も、そしてこれからも変わることはありません。

「地域の安全と安心を確保し、地域社会の文化や経済の発展に貢献する」というローカル局の役割を果たすべく、地上波のみならず、イベントや動画配信などあらゆるメディアを通じ、視聴者の皆さまに有益な情報やコンテンツを提供してまいります。

始めに視聴率からご報告させていただきます。

メ〜テレの2023年度の個人全体視聴率は、現状で「全日帯」「ゴールデン帯」「プライム帯」「ノンプライム帯」の4区分がいずれも2位で推移しています。このまま4区分すべてが2位以上で終了できれば、昨年度に続いて2期連続となります。

自社制作番組では、朝の「ドスカ!」は、1部(6:00-6:45)が同時間帯トップで推移しており、地元の皆さんに評価いただいています。

今期の決算の見込みについてご説明します。当社は3月決算です。

テレビ広告市況は、新型コロナの影響はほぼ脱しましたが、長期化するウクライナ侵攻やイスラエル・パレスチナ問題などに端を発した国際情勢の不安定化、原材料不足とコスト高騰、各種値上げ、円安などの悪影響で、上期は低調な推移となりました。下期に入りますとインバウンド経済の復調などもあり、スポット市況が少しずつ活性化いたしました。前期を上回るには至らず、様々な60周年企画からの反動減もあり、今期決算は2期連続の減収減益となる見込みです。

詳細につきましては、5月下旬頃、決算が確定した後に、経済記者クラブで説明させていただく予定です。

メ〜テレでは、放送を取り巻く環境が大きく変化していく中でも、メ〜テレグループが将来に渡ってメディアとしての使命を果たし続けるべく、4月より新たな中期経営計画をスタートします。進化するデジタルへの対応を含め、取り組んでいく事業領域を「メディア事業」「エンタテインメント事業」「エリアソリューション事業」の3つと決めました。また、グループ各社の役割も再定義し、メ〜テレグループ全体として未来に向けた変革に取り組んで参ります。

来期について、まず「メディア事業」では、昨年10月にタイトルを揃えた朝夕のベルト番組、「ドスカ!」「ドスカ+」について、番組ロゴやスタジオセットなどを一新します。そして、時間帯ごとのニーズに沿った新企画で地元への密着度を高めます。これに伴い、3月30日(土)午前11時から、二つの番組のリニューアルポイントなどを紹介する特別番組を放送します。

また4月から、毎週土曜に新番組「愛知トヨタ presents 夢の1DAYパス」がスタートします。あこがれの職業体験で、夢を追うすべての人を応援する番組です。

「エンタテインメント事業」では、愛知では2年ぶりとなるアイスショー「Fantasy on Ice 2024 in AICHI」を、5月31日(金)から3日間、常滑市のAichi Sky Expoで開催します。

前回に引き続き、羽生結弦さんをはじめ、国内外のトップスケーターによる満足度の高いアイスショーを皆さんにお届けします。

また、メ〜テレは2019年春から、アウトドアに特化したWebサイト「ハピキャン」を立ち上げ、地上波放送などと連携した取り組みを行ってきました。そしてこのたび、第二弾となる新メディア「TSUCHILL(ツチル)」を立ち上げます。家庭菜園や農作業に焦点をあてたライフスタイルメディアです。

「エリアソリューション事業」では、世の中の課題解決を目指して複数の新規プロジェクトに取り組んでいます。

昨年7月には、後継者不足に悩む企業をサポートする、「メ〜テレマッチング」を正式に事業化したほか、人手不足で悩む介護施設と介護資格を持つ人をつなぐサービスを、「メ〜テレ介護」という名称で現在、事業の検証を行っています。

また、4月から、名古屋市が発信する様々な地域情報を、ロキポアプリや在名4局の地上波データ放送を通じてお届けするサービスをスタートする予定です。

緊急時には災害情報や避難所情報をリアルタイムに市民にお届けします。一つの局ではなく、エリアをカバーする全局での取り組みは全国で初めてです。

以上が、この春からのメ〜テレの主な取り組みになります。ご清聴ありがとうございました。



左から、「ドデスカ!」島津咲苗アナウンサー、
竹田基起アナウンサー、狩野隆也社長、
「ドデスカ+」濱田隼アナウンサー、西尾菜々美アナウンサー



左から、「ドデスカ!」島津咲苗アナウンサー、
竹田基起アナウンサー、
「ドデスカ+」濱田隼アナウンサー、西尾菜々美アナウンサー

以上